

講義名	教養特講Ⅰ（これからの地域社会と福祉）		
科目区分	教養特講		
担当教員	中西 一人		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
備考			

主題と概要

人はその生涯から死に至るまで、他者との人間関係の中で生きている。その中で遭遇する様々な生活課題の解決には、家族、政治、経済、環境などとの関係を無視できないのは自明の理であるといえよう。そして、家族のあり方が変化するとともに、雇用の不安定化・流動化、多文化の共生が進むなど、現在は社会が大きく転換する渦中にあり、新たな課題が続々と提起されている。かかる観点から、生活の場である地域社会における様々な課題に目を向け、その解決を導く一助となる地域福祉について、その概念、実情について考える。

到達目標

①地域福祉の概念、理論について理解する。
②地域福祉を支えるしくみについて理解する。

提出課題

なし。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

評価の基準

授業中の受講態度及び15回目の授業内の「まとめのテスト」で総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

身近な課題であるので、日頃から新聞等の報道に接し問題意識を持つようになしてください。

教科書

. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

資料：その都度プリントを配布する。参考文献：厚生労働白書

授業計画

- 1 オリエンテーション&イントロダクション
- 2 福祉制度の歴史①（戦前～1950年代）
- 3 福祉制度の歴史②（1960～1970年代）
- 4 福祉制度の歴史③（1980～1990年代）
- 5 福祉制度の歴史④（2000年代～）
- 6 福祉の行財政
- 7 福祉の実施体制、専門機関
- 8 福祉に携わる専門職
- 9 福祉サービスと利用システム
- 10 地域の諸課題、問題点
- 11 地域福祉の理念、福祉コミュニティ
- 12 地域福祉計画①（目的と意義）
- 13 地域福祉計画②（策定手法、関連計画）
- 14 地域福祉計画③（福祉ニーズと評価、住民参加）
- 15 まとめ（地域包括ケアシステムと共生社会）、まとめのテスト

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：授業計画に沿って、関連する項目について各自の問題意識や疑問点を整理おくこと。（約2時間）復習：授業で取り上げた課題について、参考文献を自学する等により関心を深めること。（約2時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり：県職員として、地域福祉支援計画策定業務や保健福祉施策の総合調整業務、福祉事務所等の現場での経験等を踏まえ、授業に反映させる。

備考